

研究課題名「門脈分岐に基づいた肝後区域の区域分類についての検討」に関する 情報公開

1. 研究の対象

肝硬変がなく肝に占拠性病変を有さない症例、及び腫瘍による脈管浸潤を認めない症例の中で100例を選択し研究対象とした。

2. 研究目的・方法・研究期間

2011年1月から2013年10月までの間に当院でMDCTを施行した症例を対象とした。肝後区域門脈の分岐形態、及びその支配領域と右肝静脈あるいはその枝が肝後区域のS6とS7を隔てるlandmarkとなりえるのか調べることを目的とした。MDCTから3D画像(SYNAPSE VINCENT使用)を構築し、肝後区域門脈の走行とその門脈解剖に基づいた各領域のvolumeを検討した。また3D構築画像上で肝左3区域除+S7切除を仮想的に行うことで、離断面に右肝静脈あるいはその枝が走行するか否かを評価した。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

病歴、手術内容、CT画像等。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院 腫瘍外科学 〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町65

研究担当者氏名：名古屋大学大学院 腫瘍外科学 南 貴之

(電話 052-744-2222、ファックス 052-744-2230)

研究責任者：名古屋大学大学院 腫瘍外科学消化器外科1 柳野 正人

(電話 052-744-2222、ファックス 052-744-2230)